

内田繁氏文書(2)概要

1:文書群番号	092017
2:文書群名	内田繁氏文書(2)
3:出所	内田繁氏
4:家業・役職等	尼崎藩士／尼崎藩藩校正業館西寮教官
5:地名	兵庫県川辺郡旧城郭内／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市北城内・南城内
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
7:歴史	内田家は旧尼崎藩士で、幕末期の当主助左衛門（文化7・1810家督相続）は江戸詰の側用人や郡代等を勤めた。孫の内田頼重は明治2年開校の尼崎藩校正業館西寮教官（漢学）として庶民教育につとめた。
8:伝来	内田繁氏文書(1)、内田頼重氏文書と本来一体のもので、平成4年（1996）、内田繁氏が史料館へ寄贈した。
9:史料入手先	内田繁氏（原蔵者）
10:点数	14点（目録件数14件）
11:年代	元禄5～明治4（1692～1871）
12:構造と内容	尼崎藩に関するものとして、元禄5年（1692）尼崎藩領・摂津国八部郡坂本村に建立された楠木正成顕彰碑・碑文の拓本や、藩主松平氏一族（7代忠興およびその兄忠愛）の書、明治二年版籍奉還に際しての藩主松平忠興建言書・御意書写しがある。 また尼崎藩江戸屋敷詰の重役服部元彰の書や本多忠憲（有職故実家・伊勢神戸藩藩主本多忠永四男）の句（幅）等がある。
13:関連史料	内田繁氏文書(2)、内田頼重氏文書
14:閲覧条件	画像
15:作成者	松迫寿代